

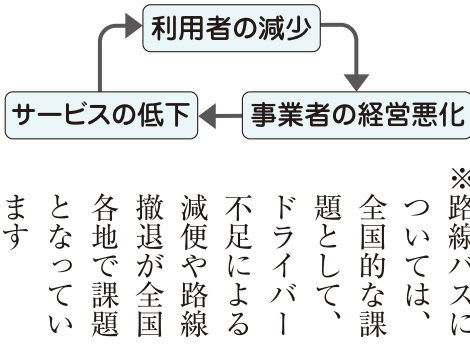
# 公共交通の未来はあなた次第!?

政策推進課 経営戦略係 ☎(83)1222

公共交通は私たちの日常生活に必要不可欠なものです。しかし、人口減少や少子高齢化などの影響により、公共交通の利用者は減少しています。

- 利用者の減少が進むと：
- ▲バス路線の縮小・運行本数の減少
- ▲利便性の悪化
- ▲さらなる利用者の減少といった悪循環

こういった状況に陥る恐れがあり、将来的に公共交通自体の維持が困難になる可能性もあります。

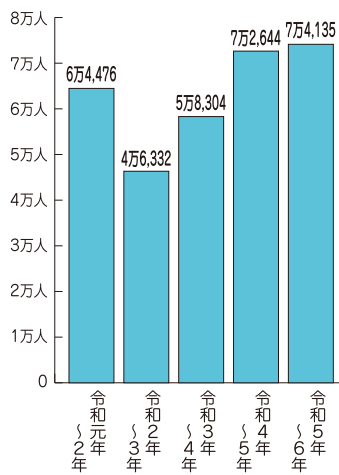


※路線バスについては、全国的な課題として、ドライバー不足による減便や路線撤退が全国各地で課題となっており、ますます

## ●寄地区へ向かう路線の利用者の推移

現在、新松田駅と寄地区を結ぶ路線バスを運行していますが、コロナ禍における利用者の減少や、ドライバー不足により、令和2年、6年とダイヤ改正による減便が行われています。

▼令和元年10月から令和6年9月までの1年間ごとの利用者の推移



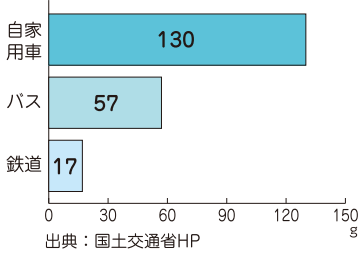
富士急モビリティ㈱より

## ●公共交通の未来は

公共交通は、マイカーに比べ、環境にやさしく、健康にも良いとされています。

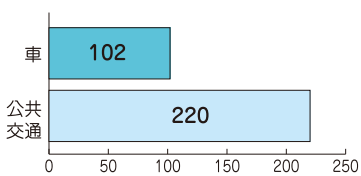
皆さまのご利用が公共交通の未来を左右します。お出かけにはバスや電車を使ってみてください。

▼1人を1km運ぶのに排出するCO2 g-CO2/人・キロ (2019年度)



出典：国土交通省HP

▼移動手段と消費カロリー



出典：第6次改定日本人の栄養所要量

令和5年に、安全で誰もが利用しやすい公共交通を確保していくため、『松田町地域公共交通計画』を策定しました。本計画に基づき、今後、鉄道、路線バス、タクシー、現在試験運行中の「のりーと足柄」といった公共交通が維持されていくよう取り組んでまいります。

## ●松田町の地域公共交通のこれから

## ●町の取り組み

町では、富士急モビリティと連携し、「交通3施策」を実施しております。対象となる方は、積極的にご活用ください。

### ●交通3施策について

#### 施策① 通学定期助成事業

小・中学校、高校、大学などに通う児童生徒を対象として、町内の路線バス（富士急モビリティ）の通学定期券の購入費の2/3を補助しています。



#### 施策② 高齢者定期券購入費助成、障がい者定期券購入費助成

町内在住・在勤の高齢者（65歳以上）、障がい者の方を対象として、まちのりバス65、まちのり福祉パスの販売を行っています。

年間7340円で、富士急モビリティが運行する町内路線バスが乗り放題になるお得な定期券です。



#### 施策③ 乗合バス運行事業補助

寄地区に向かう路線バスについて、町で費用を負担して、1便/日（新松田駅午後7時15分発）の増発と神山区や寄の萱沼、虫沢地区へ向かう枝線の4便/日運行を行っています。